

P.68~69 確認問題 A~C

P.68 確認問題 A

- (1) 1 (2) 2 (3) 2 (4) 1

P.69 確認問題 B

- (1) to (2) for (3) us science

P.69 確認問題 C

- (1) その少年をケンと呼びます (2) 彼を幸せにしました (3) その猫をタマと名づけました

【解説】

確認問題 A

- (1) in New York は副詞句で、文の要素に入れない。
- (2) 「サラダは私のお気に入りの食べ物です。」の意味。salad = my favorite food だから、第2文型。
- (3) 「あなたのお姉さんはいつも若く見えます。」 your sister = young だから young は補語。
- (4) 「トムはクラスでいちばん上手に泳ぎます。」 the best in my class は swims を修飾する副詞句だから、文の要素に入れない。

確認問題 B

- (1) 〈show+(人)+(物)〉=〈show+(物)+to+(人)〉「(人)に(物)を見せる」第4文型から第3文型へ書きかえるとき、show をはじめ多くの動詞は前置詞 to を使う。
- (2) 〈buy+(人)+(物)〉=〈buy+(物)+for+(人)〉「(人)に(物)を買ってあげる」buy は第3文型に書きかえるとき、前置詞 for を使う。for を使う動詞はほかに、make, cook など。

確認問題 C

それぞれ第5文型の文。

- (1) 〈call+A+B〉=「A を B と呼ぶ」
- (2) 〈make+A+B〉=「A を B (の状態) にする」
- (3) 〈name+A+B〉=「A を B と名づける」

P.70 STEP 1

- 1 (1) ① ア ② イ (2) ① イ ② ウ (3) ① ア ② ウ (4) ① ア ② ウ
- 2 (1) is (2) became (3) looks (4) sound
- 3 (1) (S) Tom (V) invited (O) a few friends
 (2) (S) I (V) like (O) to cook Japanese food
 (3) (S) My father (V) enjoys (O) visiting old temples
 (4) (S) Ms. Shibata (V) said (O) that we should help each other

【解説】

- 1 第1文型〈主語(S)+動詞(V)〉の文。副詞(句)は文の要素には入れない。
 - (1) 「コンサートは8時に終わりました。」という文。at eight o'clock は副詞句。
 - (2) 「この前の日曜日、不思議なことが起こりました。」という文。last Sunday は副詞句。
 - (3) 「私たちのバスは突然止まりました。」という文。suddenly は副詞。
 - (4) 「私の兄[弟]はたいてい夕食後に勉強します。」という文。usually と after dinner は副詞(句)。
- 2 (1) dancing = a lot of fun の関係。dancing は動名詞で単数扱いなので be 動詞は is を使う。
 (2) 「～になる」=〈become+名詞〉。過去形の became にする。
 (3) 「～に見える」=〈look+形容詞〉。主語が she なので3人称・単数・現在形に。
 (4) 「～に聞こえる」=〈sound+形容詞〉。助動詞 may があるので、原形を使う。
- 3 (1) 「トムは彼の誕生日の夕食に数人の友達を招待しました。」

- (2) 不定詞が目的語の文。「私は日本食を作ることが好きです。」
 (3) 動名詞が目的語の文。「私の父はしばしば古い寺を訪ねることを楽しめます。」
 (4) 接続詞 **that** 以下が目的語の文。「それから柴田先生は私たちがお互いに助け合うべきだと言いました。」

P.71

- 4** (1) tell us the truth (2) showed me her new bike (3) made them pretty dolls
5 (1) to me (2) to her (3) for us (4) for him
6 (1) made him very happy (2) friends call him Hide (3) named the cat Kuro
 (4) always keeps her desk clean (5) leave this door open

【解説】

- 4** (1) 〈tell+(人)+(物)〉= 「(人)に(物)を話す」
 (2) 〈show+(人)+(物)〉= 「(人)に(物)を見せる」
 (3) 〈make+(人)+(物)〉= 「(人)に(物)を作ってあげる」
5 第4文型の文を第3文型の文に書きかえる。前置詞は **to** を使う動詞と **for** を使う動詞がある。
 (1) give, (2) send の場合、前置詞は **to** を使う。
 (3) make, (4) buy の場合、前置詞は **for** を使う。
 (1) 「私にコーヒーを1杯ください。」
 (2) 「ジョーはよく彼女にEメールを送ります。」
 (3) 「彼女は今朝私たちにサンドイッチを作ってくれました。」
 (4) 「母親は昨日彼に新しいTシャツを買ってあげました。」
6 第5文型の文。補語は目的語について説明を補うので、目的語=補語の関係が成り立つ。
 (2) him = Hide (3) the cat = Kuro
 (5) 〈leave+A+B〉「AをBにしておく」 この open は「開いている」という意味の形容詞。

P.72 STEP 2

- 1** (1) ア (2) ア (3) ア (4) ウ
2 (1) made (2) look (3) makes me sad
3 (1) to him (2) for me (3) make (4) made
4 (1) show you the pictures of (2) What do you call this kind of fruit in Japanese?

【解説】

- 1** (1) 〈call+A+B〉は「AをBと呼ぶ」という第5文型の文を作る。
 (2) 〈tell+(人)+(物)〉「(人)に(物)を話す」「あなたの家に行く道を私たちに教えてくださいませんか。」の意味。選択肢はどれも「話す、言う」という意味の動詞だが、目的語を2つとって第4文型を作るのは tell だけ。
 (3) 〈make+A+B〉で「AをBにする」という第5文型の文。
 (4) 〈look+形容詞〉で「～に見える」。あとに形容詞がきて第2文型を作るのは look だけ。
2 (1) 「その知らせは彼女をたいへん喜ばせました。」と考える。
 (3) 「この映画はいつも私を悲しくさせます。」と考える。
3 (1)・(2) 第4文型の文を第3文型の文に書きかえる。
 (3) 「彼はその知らせを聞くとわくわくするでしょう。」→「その知らせは彼をわくわくさせるでしょう。」
 (4) 「彼女の歌を聞いて私たちはとても喜びました。」→「彼女の歌は私たちをととても喜ばせました。」
4 (1) 〈show+(人)+(物)〉= 「(人)に(物)を見せる」の第4文型の文。
 (2) 〈call+A+B〉= 「AをBと呼ぶ」を使って、「あなたたちはこの種類の果物を日本語で何と呼ぶのですか。」という第5文型の文にする。〈call+A+B〉のBが疑問詞 what になって前に出る形。

問1 ウ

問2 A call B like C teach D singing E become

問3 ㉠ Yes, did ㉡ guitar

【解説】

問1 この文は第5文型で「奄美大島出身の少女はそれ(＝島唄)をよく知られるようにした。」という意味。

問2 A 〈call+A+B〉「AをBと呼ぶ」という第5文型の文。

B 「多くの人々が彼女の歌が好きです」第3文型の文。

C 〈teach+(人)+(物)〉「(人)に(物)を教える」第4文型の文。

D be interested in ～「～に興味がある」のinの後ろには名詞もしくは動名詞がくる。

E 〈become+形容詞〉「～になる」第2文型の文。

問3 ㉠ 「音楽家たちは今日のコンサートで太鼓を使いましたか。」「はい、使いました。」本文9行目。

㉡ 「ジョージは今何の楽器を弾くことができますか。」「ギターを弾くことができます。」本文12行目。

《全訳》

誠： 今日のコンサートは楽しかった？

ジョージ： うん。音楽がとてもおもしろかったな。

誠： 奄美の伝統的な音楽だよ。島唄と言うんだ。今は日本中で人気があるんだよ。奄美大島出身の少女のおかげでよく知られるようになったという人もいるよ。

ジョージ： 彼女は何をする人なの[彼女の職業は何なの]？

誠： 音楽家だよ。彼女の声は美しいから、多くの人が彼女の歌が好きなんだ。

ジョージ： なるほどね。今日のコンサートでは、太鼓を使ったり、ギターのようなものを演奏したりしていたよね。あれは何だった

の？

誠： ああ！ あれは三線だよ。ぼくは毎週土曜日に弾き方を習っているんだ。

ジョージ： 本当に？ ぼくはギターは弾けるんだけどな。三線を弾くのはぼくには難しいだろうと思う？

誠： うーん、その2つの楽器は似ているから簡単だと思うよ。三線を教えてあげようか？

ジョージ： やったー！ ありがとう、誠。ぼくは島唄を歌うことにも興味があるんだ。

誠： それを聞いてうれしいよ。島唄がもっと人気になるといいなって思ってるんだ。